



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番6号 コンセーレ (栃木県青年会館)
CONCERE 1-1-6 KOMANYU UTSUNOMIYA CITY TOCHIGI JAPAN 320-0066

(2014~2015) ROTARY CLUB OF UTSUNOMIYA SATSUKI

TEL 028-624-1417 FAX 028-624-1843 URL <http://www.>

宇都宮さつきロータリークラブ 会報

第 17 回 例 会

日 時 : 2014年11月10日(月)

18:30~19:30

会 場 : コンセーレ

・開会 池田 光一 SAA

・点鐘 和知 孝道 会長

・ロータリーソング (奉仕の理想) 斉唱

・ビジター紹介 和知 孝道 会長

ビジター 飯村 慎一直前ガバナー (宇都宮 90RC) 佐藤 節特別代表 (宇都宮陽北 RC)
岡川 光佑 (宇都宮西 RC)

・会長挨拶 和知 孝道 会長

11月7日(金)に立冬を迎え、日に日に寒くなってまいりました。本日は、ロータリー財団委員長の藤原郁三様に卓話をいただきます。藤原様には当クラブの齊藤昇吾さん、滝川悦子さん、郷昭裕さんもロータリー財団学友会で大変お世話になったと伺っております。しっかりと学んで参りましょう。また、先週は、当クラブの石田朋靖さんが、2015年4月から宇都宮大学の学長に就任予定の大変喜ばしいニュースが入ってまいりました。心からお祝いを申し上げますとともに、親睦委員会でお祝いの席を企画されたらどうかと思っております。小堀 彰久委員長、よろしくご検討ください。

・幹事報告 三森 富雄 幹事

・現況報告書は、ガバナー訪問前に作成できました。レターケースにありますので確認願います。個人情報がありますので、表紙にシリアル番号を入れて管理します。また、時間の限られた中で作成しましたので、次回は更に良いものを目指して改善したいと思います。
・ジャパンロータリーデー IN 東京が、ゲイリー C. K. ホアン RI 会長夫妻をお招きして開催されます。この大会は特に入会5年未満の会員を対象にしています。当クラブが紹介されるとのことですので、積極的な参加をお願い致します。本日、出欠確認をします。
・11月13日(木)は、ガバナー訪問となります。開始は午後5時30分、いつもより、1時間早い開催です。当日は、早めに来て頂いて準備等のご協力をお願いします。特に、各委員長は活動状況についてガバナーから質問がありますので準備をお願いします。
・地区会員増強セミナーが、11月9日(日)宇都宮グランドホテルであり、夏目公彦会長エレクト、三森富雄幹事、齊藤昇吾会員の3名で出席しました。講演会やパネルディスカッション(突然、当クラブがパネラーに入っていたのにはビックリ)などがありました。私を感じたことは、会員を維持していくことが結果的には会員増強につながっていくということで、魅力あるクラブづくりをしていくことが重要ということです。当クラブの概要も話しましたが、講師の方は会費が一律ではないということは初めてお聞きになられたということをお話されていました。
・本日は、理事会を開催しますので理事の方は宜しくお願い致します。

・委員会報告 小堀 彰久 親睦活動委員長

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

クリスマス家族会の案内をメールにてお知らせしますので、出欠の回答をお願いします。また、プレゼント交換もしますので千円から二千元程度で各自ご用意ください。

・出席報告 滝川 悦子 副委員長

総人員 21 名、出席者数 18 名、出席率 85.71%

・スマイル報告 滝川 悦子 副委員長

- ・飯村 慎一（直前ガバナー）石田先生、宇都宮大学新学長ご就任おめでとうございます。
- ・佐藤 節（特別代表）藤原郁三財団委員長、本日の卓話宜しくをお願いします。
- ・岡川 光佑（宇都宮西RC）初めてメイキャップさせて頂きました。今後とも宜しくお願ひ致します。メイキャップ料、市内は2千円なので差額はスマイルと致します。
- ・和知 孝道 石田朋靖さん、宇都宮大学学長おめでとうございます。
- ・夏目 公彦 石田朋靖様、来年度より宇都宮大学学長就任おめでとうございます。
- ・石田 朋靖 天寿をまっとうした父が再び母とめぐり会えているだろうと祝い、大変な大役を背負う事になりました。これまでの御支援に感謝しこれからのご協力を願ひつつ
- ・小堀 彰久 親睦委員会が活躍する季節になってきました。クリスマス会、新年会と皆様、宜しくお願ひ致します。
- ・郷 昭裕 石田朋靖様、宇都宮大学学長おめでとうございます。
- ・渡邊 正芳 石田朋靖新学長、誠にお目出当御座居ます。
- ・齊藤 昇吾 11月は、ロータリー財団月間です。ロータリー財団学友会に続き、宇都宮さつきロータリークラブでも藤原郁三委員長にはお世話になります。

・卓話 藤原 郁三 ロータリー財団委員長

2014-15年度ロータリー財団5つの目標

- 1 2018年までにポリオ撲滅（1クラブ1,500ドル目標）
- 2 継続的な寄付を通じてロータリーの独自唯一の慈善事業を支援する。（年次基金1人150ドル目標）
- 3 持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展をより確かに。（地区補助金だけでなくグローバル補助金にトライすることで初めて未来の夢計画が実現可能）
- 4 ロータリー平和センタープログラムの推進と広報を通じて、世界理解・親善・平和を育む。（パッケージgrantをなくした分、こちらを充実させる）
- 5 ロータリー財団の未来の健全性は自分たちにかかっていることを強調する。（新たに運営準備金制度を設け、年次基金の5%をあてる）

未来の夢計画について

未来の夢計画が生み出された経緯

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎える為、財団が奉仕の第2世紀に移行する為の計画を立てた。今までの100年を総括し、次の100年耐えられる計画、それが「未来の夢計画」です。

そして、2008年に理事会（RI）でこの計画が承認され、3年間のパイロット期間を経て2013～2014年度に正式にスタートしました。

「何故、未来の夢計画が必要なのか？」

過去10年間ロータリー財団の活動は激増。

例えばマッチング・grantは、プログラムが始まった1965年～2000年までの35年間に1万件授与されたが、次の1万件はその後わずか4年間でした。

その上、それだけ数をこなしているのに、世界的には他の財団に比べてロータリーの奉仕活動は目立ったものになっていない。そこで大きな成果と長期的なプロジェクトを目指し、又、財団プログラムを出来るだけ簡素化するための対策を講じる必要があるということで作られたのが「未来の夢計画」です。

未来の夢計画の目的

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

プログラムの運営を簡素化する。

ロータリーの世界的な影響を高める為、最大の成果が期待出来る奉仕活動に焦点を絞る。
(グローバル補助金)

地元及び全世界の活動を支援する。(地区補助金とグローバル補助金の2段階)

地区とクラブに意思決定権を移すことで、地区レベルとクラブレベルにおいて、財団が自分達のものであるという自覚を高める。ロータリーの公共イメージを高める。

補助金の種類

従来は12種類の補助金プログラムがあったが、未来の夢計画では、新地区補助金、グローバル補助金、の2種類の補助金に簡素化され、集約される事となった。従来のGSEはVTT(職業研修チーム)に変わり、そのVTTも奨学制度もすべて新地区補助金とグローバル補助金の中に組み込まれる。ただし、ポリオと平和フェローは、従来のまま残る。

新地区補助金

- 各クラブから申請されたものを地区で選考し、地区が一括申請して、地区に一括支給されるので裁量権は地区にまかされる為、地区の管理責任が増大。
- 地区内・外の社会奉仕及び国際奉仕の小額なプロジェクトに使用可能で、必ずしも6つの重点分野に関連している必要はない。
- 申請書を提出する「計画年度」と、プロジェクトが実施される「実施年度」の2年の業務サイクル。3/1~4/25 申請→6月末承認、7月スタート→4月30日までに実施、5月31日までに報告書提出。
- 財源はDDFのみ。3年前の年次寄付と、恒久基金利息によるDDF額の50%
(従来は20%)
- 3万ドル以下の比較的小さな規模の短期的プロジェクトが対象。
- プロジェクトの分野は問わないが、補助金使用に関する制約事項は「授与と受諾の条件」を参照の事。
- 職業研修チーム(VTT)は6つの重点分野に限らなくても良い。
従来のGSEも地区の裁量で可。
- 奨学金は、高校、大学、大学院のいずれも可。(1年間)入学許可優先。

グローバル補助金

- 6つの重点分野を設定し、この分野にしばって力点を置くというもので、最低3万ドル(DDF1.5万ドル+WF1.5万ドル)という大きな規模のプロジェクト。これまでは大規模で影響力の高い活動に充てられた財団の補助金は年次予算の20%、それを80%に高める財団がもっとも力を入れているプロジェクトである。
- 人道的プロジェクトも、奨学金もVTTもすべて6つの重点分野を支援するものであること。
- 持続性があり、成果が上がり、且つその成果が測定出来ること。
- 奨学金は、海外の大学院、もしくはそれに相当するレベルの大学で学ぶ場合のみ。
(1年から4年まで)先に入学許可が必要。
- 2ヶ国以上のクラブ又は地区が参加する国際プロジェクトのみ。(援助国と実施国)
- 申請は随時できるが、DDFの申請受付開始は7月1日から。DDFの補助金承認後、ファーストステップとしてセルフチェックを行い、その後でTRFへクラブが直接申請書提出(オンラインで)。プロジェクトの終了後2ヶ月以内に最終報告書提出。

MOU(覚書)

地区補助金、グローバル補助金はどちらも「ロータリー財団地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件」を満たすプロジェクトでなければならない。

金額が大きくなった分しっかり管理してもらいたいということで設定された。

これを良く理解した上で、地区とMOU(覚書)を事前に取り交わすことが条件になる。

(3月1日~3月31日全クラブ対象)

6つの重点分野について

①平和と紛争予防／紛争解決

<現状>

- ・ 最も貧困に苦しむ 20 カ国の内、16 カ国が今も内戦中。
- ・ 1990 年から 2004 年の間に 360 万人が命を落とし、その内 98% が一般市民で、その内およそ半分が子供。
- ・ 世界の難民 2,700 万人その内 80% が女性と子供。
- ・ 教育の普及率は、紛争地域が最低、一方軍事費は教育費の 170 倍

<活動のアイデア>

- ・ 紛争地域における平和構築の支援。
- ・ このテーマに関連した仕事で活躍しようとする専門職業人のための奨学金支援。
- ・ 紛争に見舞われた若者の職業訓練。（テロリスト防止）

②疾病予防と治療

<現状>

- ・ サハラ砂漠以南は地球上の 24% が疾病地。しかし医療従事者は世界全体のわずか 3%。保健は 1%。
- ・ 感染症で毎年 1,700 万人死亡。そのほとんどが途上国。
- ・ マラリアで毎年 100 万人死亡。ほとんどが 5 才未満。
- ・ アフリカの人口は世界の 11%。しかしアフリカのエイズ人口は 60%。

<活動のアイデア>

- ・ 地元医療従事者の能力向上。医療インフラの改善。
- ・ マラリア予防の為の、蚊帳の普及と地元製造への支援。

③水と衛生

<現状>

- ・ 世界で 26 億人（その内アフリカは 8 億 8,400 万人）が衛生的な水源から飲み水が得られないという現状。
- ・ サハラ砂漠以南では 18% の人々が、30 分以上も離れた場所で水汲み。
- ・ 今年、220 万人の子供が下痢で命を落とす。その内 80% は 2 才未満

<活動のアイデア>

- ・ まず井戸を提供する事が考えられるが、単に井戸を設置したり、砂濾過器を提供したりするだけでは「持続可能」とはならない。浄化槽設備の提供に加え、メンテナンス・修理・水保全・衛生管理についての研修を提供していくプログラムを加える事が大切。

④母子と健康

<現状>

- ・ 毎日 5 才以下の子どもたちの 2 万 7,000 人が、本来予防可能な病気で命を落とす。
- ・ 毎年 53 万 6,000 人の女性と少女が妊娠期、出産時に合併症で死亡。
- ・ 発展途上国において、妊娠、出産が死亡及び身体障害の第一要因。

<活動のアイデア>

- ・ 医療専門、特に産科の VTT チームを派遣し、現地の保健スタッフに研修を提供。
- ・ 測定可能な目標として 5 才未満の幼児及び妊婦の死亡率の削減（数値目標）

⑤基本的教育と識字率の向上

<現状>

- ・ 基礎教育を受けられない子供は 7,500 万人
- ・ すべての子供達に初等教育を行なえば、70 万件の HIV 感染が予防できる。
- ・ 4 人中 1 人以上の成人が読み書きが出来ない。その内 70% 近くが女性。

＜活動のアイデア＞

・ 学校に図書を寄贈、加えて教師の追加要員を養成したり、現教員の指導力を高める為に職業研修チーム（VTT）を派遣したりして現地での研修者を養成する事で初めて持続可能なプロジェクトになる。

⑥経済と地域社会の発展

＜現状＞

- ・ 1日1.25ドル未満で暮らす貧困層が今世界で推定9億人。
- ・ サハラ砂漠以南では、1日1ドル未満で暮らす人が全体の半分。

＜活動のアイデア＞

・ 農村地区の若者達に畜産に関する研修を行ない、又、雄雌両方の家畜を提供すれば、家畜の数を増やす事が出来、数世代に渡って維持可能なプロジェクトになる。

・ 織物の生産を向上させる設備や器材を提供し、合わせて技術援助をする。

織物は途上国では一番身近なものづくりであり、それに着目する事が最も現実的。



《ロータリー財団委員会 藤原郁三委員長》

・ 点鐘	和知 孝道 会長
------	----------

・ 閉会	池田 光一 SAA
------	-----------